

第33回 CAOS21の会
発行日 令和8年5月

CAOS21の会事務局

第33回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

日程

- 令和7年11月7日(金) 小江戸眼科内科
- 令和7年11月8日(土) 先進会眼科

目次:

- 1 はじめに
- 2 小江戸眼科内科
- 3 先進会眼科
- 4 参加印象記
- 5 協賛会社

1 はじめに

第33回CAOS21の会は、第1日目にトラベクトミーマイクロフックの進化版をご考案された小江戸眼科内科 院長 庄司拓平先生の低侵襲緑内障手術と、こだわりの施設(2022年5月開業)を見学させて頂きました。第2日目は日本白内障屈折矯正学会理事である、医療法人先進会 理事長 岡義隆先生の屈折矯正手術と、こだわりの施設(2024年8月移転)を見学させて頂きました。



第33回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

2 小江戸眼科内科

第1日目は、小江戸眼科内科 院長 庄司拓平先生を訪問しました。庄司拓平先生は2002年 防衛医科大学校医学部卒業後、行定病院 眼科医長、埼玉医科大学 眼科准教授を歴任、現在は埼玉医科大学 眼科客員教授、日本緑内障学会評議員、日本眼科手術学会学術委員を務められております。

2022年5月にご開業、初年度から白内障手術2500件の実績、2023年度の総手術件数は3618件、2024年度の総手術件数は3950件、現在は常勤医師8名体制となり、急成長を遂げております。開業3年で、多くの来院患者数と手術件数を受け入れている、効率化のための工夫と、Alcon社からリリースされた新しいMIGSデバイスであるHydrusのCertificateを国内で初めて取

得された庄司拓平先生にご講演頂き、MIGS間(マイクロフック・Hydrus・iStent)適応の違いを学べる会になりました。

手術見学・施設見学

手術見学は、PEA+IOL+Micro hook lotomy(MHL)、PEA+IOL+Hydrus、PreserFloの10症例を5班に分かれて見学させて頂きました。1班ごとオペ室へ入室、入室待機の先生方は、待合室の電動プロジェクター160インチスクリーンでモニター見学をしました。モニター見学でも、小江戸眼科内科の常勤医師が待合室に同席頂き、先生方が疑問に思った事を、その場で丁寧にご回答頂きました。

オペ室の壁には、千原悦夫先生から贈ら

れた「湛然不動(たんぜんふどう)」の書道額装が掲げられていました。水が深くとたえられて静かに揺るがないように、物事に対して心が落ち着いていて、決して動かない様子を表している成句に相応しく、庄司拓平先生の手術は流石でした。

MHLは出血しません。アーメドゴニオ、モリゴニオ、スワンヤコブゴニオを症例によって使い分けていました。MHL→Phacoの流れで、メインポートを開けず、サイドポートだけでCCC、手術終了時の眼圧が重要である事、患者さんの顔位の取り方についても、先生方へ丁寧にアドバイスしておりました。術後3日の時点で視力改善があり、受診スケジュールは翌日・3日目・1週間、との事でした。参加された先生方からのアンケートでは、手術見学をする事により、自分



第33回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

ている事として、平均滞在時間(受付～会計終了)を少しでも減らせるよう努力しているそうです。視力検査6列→9列、OCT 2台→3台、視野計3台→4台、常勤医4名→8名、ボトルネックとなっている所を日々改善しているとの事でした。

緑内障手術の講演では、MIGSはほぼ全例日帰り手術で対応可能、日帰りクリニックにおけるMHLは、早期から中期のPOAGや、ステロイド緑内障に有効な選択肢である事、PreserFloはMMC濃度が重要である事をご教授頂きました。

症例検討会では、Hydrusの短期評価もお聞きしました。点眼スコア良し、四象限に挿入可能だが下鼻側に入れる、ハイドラス挿入のコツは術前の挿入戦略が重要、どの隅角鏡を用いて、どの部位に挿

入するか事前に計画するのがコツとの事でした。参加された先生方からレクミーの質問が多数寄せられました、手術終了時の眼圧が重要と、庄司拓平先生が繰り返し回答していたのが印象的でした。

懇親会

CAOS一同は川越プリンスホテルへ移動、5階「ティーローズルーム」で懇親会を開催しました。庄司拓平先生を中心に口の字スタイルで着席して情報交換を行います。

参加された先生方から、見事な手術と素晴らしい情熱的なご講演を通して、緑内障手術の体系と手技を具体的に学ぶ貴重な機会になりました、常日頃白内障

サーजनである自分が患者さんの目に早期手術介入している事は緑内障を進行させないために役立っていると確信しました、素晴らしいクリニックを見せて頂き有難うございました、という感謝の声が多数寄せられました。

懇親会終了後、川越プリンスホテル1階「ウインザー」で二次会を行いました。庄司拓平先生とCAOS一同は眼科医療の将来について時間を忘れて議論しておりました。こうして第一日目を盛会裏に終える事が出来ました。庄司拓平先生をはじめスタッフの皆様のご協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



3 先進会眼科

第2日目は、先進会眼科大阪梅田 理事長 岡義隆先生を訪問しました。岡義隆先生は、1996年 愛知医科大学卒業後、福岡大学病院、同大学筑紫病院、聖マリア病院 眼科外来医長を歴任、現在は日本白内障屈折矯正手術学会理事を務められています。2002年11月に福岡県飯塚市で岡眼科クリニックをご開業、1年半で延べ3万人を超える診療の中、医療法人先進会を設立、今回訪問する大阪梅田院は先進会眼科の旗艦施設として、ICL・レーシック・FLACSを中心に、年間6000例以上施行しています。グループ全体で年間15000例以上を執刀、独自の効率化のための工夫と、24年間連続して術後感染症ゼロを達成している秘訣、屈折矯正手術を学べる会になりました。

手術見学・施設見学

手術見学は、FLACS+CTR、ICL、X-tremeLASIKの44眼を2班に分かれて見学させて頂きました。内眼手術室と大きなガラス壁で隔てられたLASIKレーザー室に分かれての見学です。講演会開始の予定時刻まで、2時間30分しかないの、果たして44眼も手術が出来るのだろうか？と少し心配していましたが、実際の手術を見学すると、直ぐにその心配は無くなりました。大勢のスタッフがそれぞれの役割を正確にこなし、岡先生が無駄のない流れで極めて効率的、かつ巧みに手術を進めておられる様子に感動しました。

リズムが良く、手術している以外の時間が短い、ご使用していたドレープは、ドレープ

貼付行程で患者さんに直接触れる事がなく、清潔操作のままなので大幅に時間短縮(従来ドレープが約65秒のところ約12秒に短縮)、ICLの創口作成はサイドポートも弧状ナイフを使用する、ICLセッティング専用のスタッフを置いている事、粘弾性を必要最小限に減らしてオペをしている事など、学ぶ点が多かったです。

FLACS+CTRとICLが終わり、LASIKになるところで、LenSxから煙が出るというアクシデントがありましたが、そこはIFS(AMO)で代用、より難しい操作が必要なIFSですが、全く動じることなく手術を終えていた所は、レベルの高さを感じました。

手術見学の合間に、施設スタッフ様に詳しくご説明頂きながら施設見学をさせて頂きました。「自分が受けた眼科治療」



第33回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

をテーマに最善の方法をクリニック丸と
なって取り組み、患者さま一人一人に
とっての「生涯の目のパートナー」であり続
けているクリニックの理念を感じました。

講演会・症例検討会

大阪梅田ツインタワーズ サウス26階の
会場へ移動して、岡義隆先生に屈折矯
正手術についてご講演頂きました。講演
会では門外不出のTipsを多数ご伝授頂
きました。拝聴された先生方が大絶賛し
た講演会でした。参加できなかった先生
方のために、ここで少し概要をご紹介さ
せて頂きます。

ICL手術で一番大切な事は、絶対的な安
全性と徹底した低侵襲の追求、手術時

間や症例数より安全第一、感染対策を
徹底して感染性眼内炎23年間ゼロ、ICL
と弧状ナイフは相性が良い、創口安定化
→弧状ブレードを使用で自己閉鎖率はほ
ぼ100%、挿入中にインジェクターが外れ
る事が起こりにくい、眼球をしっかり固定
する事がコツ、眼球固定器を使用してい
るが眼球が水平になっている事が分か
る、虹彩と水晶体前囊に対して水平・平
行、インジェクターの長さとお創口トンネ
ルの長さが同じになる、デスメ膜損傷防
止→サイドポートデザイン変更、ICLは白
内障よりも眼内で器具を動かす範囲が大
きい、弧状ブレードは内方弁0.6mm外
方弁1.0mmなのでリークしづらい、内
方弁に負担がかからない、白内障手術
では怖いサイドポート作成だが、ICL
ではサイド

ポート作成はストレス、1mmサイドポ
ートナイフは内方弁から先端が2mm眼
内に入る、弧状ナイフは内方弁から先
端が0.5mm、適正な前房深度→粘弾
性2種類を使用、レンズ回転防止→レ
ンズセット後の待機時間短縮、ICL手
術時に最も嫌なこと、内皮障害と水
晶体損傷、安全な虹彩下固定→全例
上方切開で縦固定、残留粘弾性対策
→適正な粘弾性使用と還流量増加、
角膜内皮保護→IAチップとスリーブ
位置変更、ICL回転対策→適正な器
具選定と手法、ICLが回転しそう
なとき、半分以上ひっくり返ってし
まうとリカバリは難しくなるが、
60%以下の回転時まで、完全に押
しきらずにそのままインジェクター
を抜きつつ、少し虚脱させて、フツ



第33回 CAOS21の会

プレートを創に挟む、粘弾性を準備する数秒間に回転するのを防止、ICL裏面間に粘弾性注入しながら軽く押す、半回転整復する方法動画を解説、回転してしまったら、従来のICL 鑷子では摘出困難、把持力不足、先端形状も狭い前房内での操作に不向きリスクが高い、ICL 抜去の切り札Inami野口氏IOL 把持鑷子、ICL 抜去する際にはレンズを把持する位置(スウィートスポット)が最重要、LASIKは決して終コンではない、従来LASIKとCustomLASIK、高次収差に対応、次世代レーザー屈折矯正のモデル(RayTracing 解析)、より最適化された個別照射プログラムを作成、測定・プランニングするSightmapはcoming soonです。

症例検討会でも先生方からの質問が途切れず、終了時間となってしまった為、続きは懇親会とする事にして、やむなく講演会・症例検討会を終了させて頂きました。

懇親会

CAOS一同はヒルトン大阪へ移動、4階「銀の間」で懇親会を開催しました。岡義隆先生と近藤美鈴先生、菅沼隆之先生を中心に口の字スタイルで着席して情報交換を行います。

参加された先生方から寄せられた感謝の声を一部紹介させて頂きます。、岡義隆先生のゆるぎない信念と情熱、そしてそれを支えるチームの統制力と勢いにあふれる非常に魅力的なクリニックであった。今後の人材育成や組織運営を考え

る上で、多くの示唆を得ることができた。組織的な連携の精度の高さ、岡先生の素晴らしい手術手技を学べたことは貴重でした。この他手技に関する質問も多数寄せられ懇親会はあっという間でした。

懇親会終了後、ヒルトン大阪1階「MYPLACE」で二次会を行いました。岡義隆先生とCAOS一同は眼科医療の将来について時間を忘れて議論しておりました。CAOSの理念である、最先端の眼科診療を見学して、眼科医同士が情報交換を行い、眼科医療の向上と眼科医の将来を考え、そこで得られた優れたアイデアは、自院の医療サービス向上、ひいては地域医療の改善に貢献している事を、改めて実感しました。こうして第二日目も盛会裏に終える事が出来ました。岡義隆先生をはじめスタッフの皆様のご協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



第33回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

4 参加印象記



弥生病院
石黒 利充 先生

毎年11月が近づいてくるとCAOS21の会が開催されるためわくわくしてきます。さまざまな先生方のクリニックにおける診療のコンセプトや実際の手術を生で見聞きすることができる特別な会だからです。今回でなんと33回目の開催です。私は3年前から参加させていただいておりまだまだ新参者ですがこの度訪問レポートを書かせていただく機会をいただきましたので、見聞きして感じたことをご報告させていただきたいと思っております。

初日は埼玉県川越市にある小江戸眼科内科さんです。院長の庄司拓平先生は2002年に防衛医大をご卒業されて、防衛医大助教、埼玉医大講師、埼玉医大准教授を歴任されて2022年にご開業されました。現在は埼玉医大の客員教授もされております。ご専門は緑内障で、誰もが

知る緑内障の大家です。以前、開業初年度からとんでもないロケットスタートをした眼科があると噂になっていた眼科が小江戸眼科内科でしたので今回の訪問はいろいろな意味で非常に楽しみにしていました。現在開院3年で分院を1つと医師9人を抱える巨大なクリニックといえると思っております。手術は白内障手術、緑内障手術、硝子体手術まで多岐にわたり開業初年度から2000件以上の手術件数でしたが、2024年度は3950件と見事な右肩上がりの成長を続けています。

小江戸眼科内科は川越駅から徒歩で5～6分ほどの距離にあるビルの1階にあります。施設見学でまず驚かされたのが、クリニックの広さです。庄司先生はご自身で工事前に見たときはサッカーできるんじゃないかと思っただけとおっしゃっていたほどです。その広々としたスペースに広い待合

室、9列の視力検査、OCT3台、視野計4台、診察室5つ、手術室と通常のクリニックでは考えられない規模でした。1日の患者数300人越えというのも納得です。また1人の平均滞在時間をなるべく短くするための検査、診察の導線も非常によく考えられていました。患者さんの導線や、待ち時間の短縮への取り組みなどいろいろと質問してしまいましたが、スタッフの皆さんは非常に丁寧にわかりやすく教えていただきました。

手術は緑内障手術が10件予定されていました。μフック、Hydrus、プリザープロといういろいろな手術を見せていただきました。まさに緑内障の専門家という感じで見事に流れるように手術が進んでいきます。さまざまな隅角鏡を用いて隅角手術をスムーズに行っているのが非常に印象的でした。



手術後は症例検討会の時間です。症例検討に先立って庄司先生の自己紹介の slides から始まりました。防衛医大というある意味特殊な環境と、その経歴は私にはあまり理解できないものでした。卒業後は駐屯地に所属する？訓練に参加する？どうということ？って感じです。庄司先生は駐屯地所属時代に宇治の千原眼科に勤務して、千原悦夫先生やその時に千原眼科に勤務されていた谷戸正樹先生と親交を深められ緑内障を専門にする大きな要因になったことでしょう。また宇宙飛行士の金井宣茂さんと大学時代の同級生でご友人とのことでした。まさに防衛医大ならではのエピソードといった感じです。症例検討ではその日に行われた手術に対する討論が行われました。庄司先生はフックロミー時にサイドポート作成、粘弾性物質注入、CCCを施行した後にフック

ロミーを行います。そうすると主創口を作成していないため粘弾性物質の脱出が少なくなり低眼圧での視認性の低さがないというのが理由でした。実に理にかなった方法だと思います。ただサイドポートから入るCCC撮子がないとできないため、いまから変更するのはなかなかハードルが高いように思いました。これから始める先生方にはすごくいいやり方ですので参考になると思いました。その他にもたくさんの質問が出て庄司先生との討論も盛り上がりましたが時間には限りがあり続きは食事会と二次会に繰り越したとなりました。

食事会は川越プリンスホテルにて行われました。食事をしながら順に自己紹介や見学の感想などを述べていくのですが、ほとんどの先生はまだまだ聞きたいことがたくさんあったらしく症例検討会の延長のよう

になってしまいましたが、庄司先生にはその一つ一つに丁寧にこたえて頂きました。二次会は1階のBarに移動して話の続きに花が咲きます。庄司先生のところで働く若い先生も参加され入り入りと話を聞くことができました。若い先生が生き生きと話をされて、働き甲斐があると言っておられたのが印象的でした。若い先生が集まってきて多くの患者さんを診察する。そして若い先生たちを指導しながら次世代の医師を育てる。まさに理想的なクリニックだと感じました。閉店まで皆さん大盛り上がりで話が弾みましたが最後までお付き合いいただきました庄司先生ありがとうございました。

11月8日、早めの朝食をとりロビーに集合しました。今日は大阪の先進会眼科の見学の日です。庄司先生も合流され新幹



第33回 CAOS21の会 手術・施設見学レポート

線で大阪に移動しました。移動中も皆さん手術の時にどうだ、こうだと活発な議論が聞こえてきました。本当に、私からすると大先輩方なのにいつまでも向上心を忘れない素晴らしい先輩方だと感じました。新大阪から大阪駅にJRで移動して昼食です。ヒルトンプラザにある虎連坊さんで鯛飯をメインにした昼食は美味しく食べて過ぎてしまいました。その後、先進会眼科のある梅田ツインタワーズ・サウスに移動しました。私は20年近く大阪に住んでいましたが、大阪の梅田周辺はかなり再開発が進んでいて久しぶりに来ると迷子になりそうです。

先進会眼科大阪院は自由診療を中心にされている眼科で施設見学ではまさに、屈折矯正手術を中心に検査機器等が配置されており、患者さんにスタッフがゆっくり説明でき、かつ個人のプライバシーが守られるようにブースが配置されているのも非常に印象的でした。これなら患者さんも安心して不安な気持ちやそれぞれの事情などが話せるのだらうと思いました。患者さんからどのようにみられているのかを非常に意識していると感じました。

手術室は2室あり、1つは内眼手術用の部屋、もう1つはフェムトセカンドレーザーをはじめ3台のレーザーが並ぶLASIKの部屋でした。なんと13時30分から17時30分の手術予定時間に多焦点眼内レンズ白内障手術4眼、ICL30眼、LASIK10眼の44眼が予定されていました。後から聞いたのですが、この日のためにたくさん予定したわけではなく通常と変わらないそうです。私はICLをしないのでよくわかりませんが、岡先生のICL手術は片眼約1分ほどで見事な仕上がりで終わります。特に上方のプレート部分を虹彩の下に入れるのが難しいそうですが、岡先生は何の苦もないようにずっとICLの固定をされておりICLをされている先生方からは驚嘆の声が上がっていました。毎回素晴らしい手術を見るたびに思うのですが、よい手術ほど淡々と時間が過ぎていき気が付けば終わっていると感ずります。今回の2施設ともにそんな感じの手術見学でした。自由診療手術をしない私にはわからないことや、いろいろな疑問に思ったことがたくさんあり、手術中に近藤先生や菅沼先生にお訊ねすると非常に丁寧にいろいろと教えていただきました。

た。本当にありがとうございました。内眼手術が終わると次はLASIKです。途中でアルコンのフェムトセカンドレーザーの調子が悪くなるというアクシデントがありましたが、何事もなかったように先生方も、スタッフの方々も対応されていました。看護師さんたちは手術中の介助、外回り、アクシデントの対応まで本当にどこまで訓練されているんだと感じました。

手術、施設見学の後は岡先生のご講演でした。もっとも力を入れていることは眼内炎の予防で、今まで眼内炎は起こしていないとお聞きし非常に驚きました。何千例に1眼は確率的に起きるのだから仕方がないと考えていましたが、このような施設があるということはやり方次第ではもっと眼内炎の確率は減らせるはずだと思い自施設での対策を再度考えるきっかけになり現在取り組んでいます。

19時からヒルトンホテルに移動して懇親会が開かれました。ICLをされている先生方はまだまだ聞きたいことがたくさんあったようで岡先生に質問攻めをしていました。美味しい食事と楽しい時間はあっという間に過ぎていきます。食事の後は1階の



第33回 CAOS21の会

Barでの二次会で夜遅くまで話に花を咲かせました。

今回、小江戸眼科内科と先進会眼科の2施設にお邪魔しました。緑内障治療中心のクリニックとICLやLASIKという自由診療中心のクリニックでしたが、どちらのクリニックも患者さんの導線、在院時間、治療結果へのこだわりなど様々のことで私にとって気がありました。さっそく自院での診療に生かしていけたらと思っています。庄司先生、小江戸眼科内科のスタッフの皆さん、岡先生、近藤先生、菅沼先生、先進会眼科のスタッフの皆さん本当にありがとうございました。





UNITY[™]VCS
Vitreoretinal
Cataract
Systems

Experience Extraordinary.
Superior Efficiency
for Vitreoretinal and Cataract Surgery.*

製造販売元(輸入元)
日本アルコン株式会社
製品情報お問い合わせ先: 0120-829-266

*Based on bench testing. Data on File.

*Based on bench testing.
References: 1. Alcon Data on File, 2024 (REF-24615, REF-24379, REF-24576, REF-24644)
©2024 Alcon Inc. GLB/IMG-LVC-2400042



Alcon

UNITY[™]

Alcon

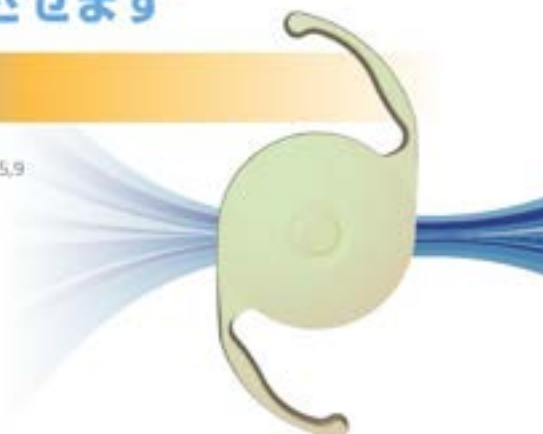
Alcon

一般的名称: 白内障・緑内障手術装置
販売名: 白内障・緑内障手術装置 UNITY SYSTEM
医療機器承認番号: 30600LZ300234000
特定保守管理医療機器該当
SMA1098-1 JP-LVC-2500004

Clareon® Vivity® AutoMe® は シンプルに使い易く焦点深度を拡張させます

Clareon® Vivity® : 波面制御型 IOL^{1,5-8 †}

- 波面制御テクノロジーが光を引き伸ばし、シフトさせる^{1,5,9}
- 優れた遠方視と中間視および実用的近方視を提供¹⁵
- 視覚障害を単焦点レンズと同程度まで軽減¹⁵
- 術後長期に渡る透明性^{8,10-12 †}
- 良好な屈折安定性¹³⁻¹⁵



販売名: Clareon® Vivity® Extended Vision 屈折レンズ AutoMe® オートフレッドアムビオシステム 一般的名称: 挿入型付後発レンズ 医療機器承認番号: 30500BZX00041000

References: 1. Clareon Vivity® AutoMe® Directors for Use. © Alcon Data on File. US Patent 9869440 B2. 15 May 2016. © Alcon Data on File. 700C-000376. 09 Apr 2016. 7. Bala C, et al. Multi-country clinical outcomes of a new nonrefractive presbyopia-correcting intracocular lens. J Cataract Refract Surg. 2021. Ahead of print. doi:10.1097/jcs.0000000000000711. 8. Warner J, Truttmann L, Ong M, et al. Evaluation of clarity characteristics in a new hydrophobic acrylic IOL in comparison to commercially available IOLs. J Cataract Refract Surg. 2019;45(12):1490-1497. © Alcon Data on File. 700C-000710. 18 Jun 2019. 10. Dohka T, Fujita Y, Imamura M, Miyata K. Mid-term and long-term clinical assessments of a new 1-piece hydrophobic acrylic IOL with hydroxyethyl methacrylate. J Cataract Refract Surg. 2020;46(11):862-867. 11. Alcon Data on File. 700C-001701. 19 Mar 2021. 12. Stanek J, O'Leary D, Mull C, et al. Visual and refractive outcomes and glaucoma occurrence after implantation of 2 hydrophobic acrylic aphakic monofocal IOLs. J Cataract Refract Surg. 2020;46(11):868-874. 13. Dohka T, Fujita Y, Wada A, Imamura M, et al. Comparison of incidence of repositioning surgery to correct misalignment with three toric intracocular lenses. Eur J Ophthalmol. 2019;1-7. 14. Adam S, Kramer SA, Hunter DK & Berdahl Jr. Toric intracocular lens orientation and residual refractive astigmatism: An analysis. Clin Ophthalmol. 2016;10:1029-1036. 15. Lee SS, Zhang Q. Comparison of the rotational stability of two toric intracocular lenses in 1273 consecutive eyes. Ophthalmology. 2016;123(9):1925-1931.
† For indications, contraindications and warnings please refer to the relevant product instruction for use.
1. Among the lowest levels of turbidity, 1040c, and glaucoma of consecutive IOLs. 9 Results from a prospective, randomized, parallel group, subject and surgeon masked, multiple trial of 107 subjects bilaterally implanted with the AcrySof® IQ Vivity® Extended Vision IOL and 113 with the AcrySof® IQ IOL with 6 months' follow up. † Defined as modified Miyata grade 0, <25% (mean) over 2 years (n=108), and over 5 years (n=20), respectively.

Alcon

製造販売元(輸入元)
日本アルコン株式会社
製造販売お問い合わせ先: 0120-825-266

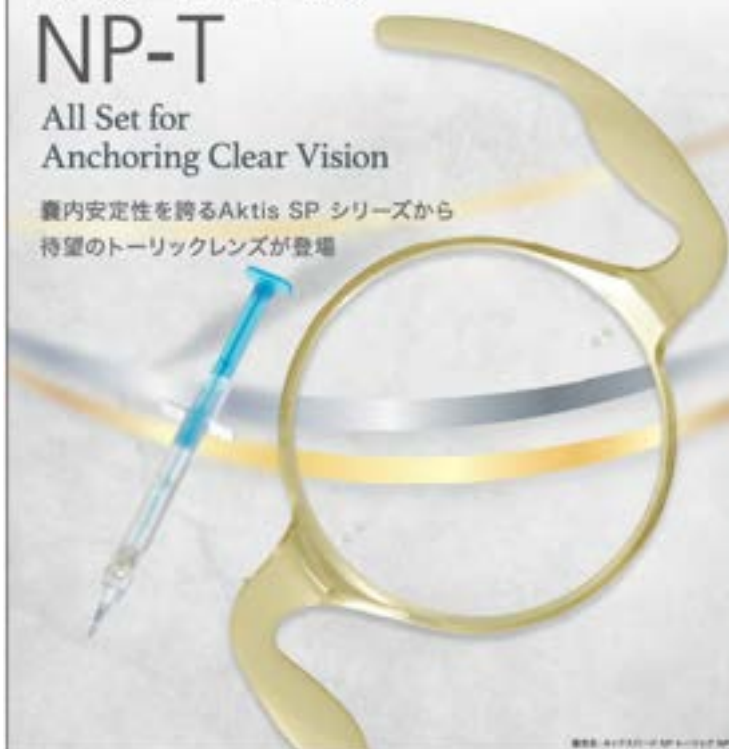
03007771
JP-IVV-2300006
23060FA
© 2023 Alcon

ネックスロード NP トーリック

NP-T

All Set for
Anchoring Clear Vision

囊内安定性を誇るAktis SP シリーズから
待望のトーリックレンズが登場



New Concept

新非球面構造が提供する新しい世界
光軸方向への偏位が生じても
結像性能変化の少ない非球面構造を採用



ネックスロード
NSP-3

Eye & Health Care
株式会社 ニデック

本社/〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜34番地14 TEL.0533-67-8840
営業拠点/札幌・仙台・埼玉・東京・千葉・横浜・蒲郡・金沢・京都・大阪・高松・広島・福岡
URL <https://www.nidek.co.jp> <東京営業課>TEL(03)5844-2631

TOPCON Healthcare

3次元眼底像撮影装置

DRI OCT Triton2

NEW

DEEP RANGE SWEEP-SOURCE OCT
X
HIGH QUALITY FUNDUS IMAGING



画像のご提供：川路隆博先生 佐藤眼科・内科
販売名：3次元眼底像撮影装置 DRI OCT Triton2
医療機器認証番号：307AABZX00054000

眼底撮影
最小瞳孔径
Φ2.0mm



眼底撮影面角
50°



最大スキャン幅
21mm
広角OCT撮影



詳しくはこちら

株式会社 **トプコンメディカルジャパン**

ホームページ <https://topconhealthcare.co.jp>

本社 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1 TEL.(03)5915-1800 FAX.(03)5915-1805

ARTEVO750 + IOLマスター700

白内障パッケージ

ZEISS

Seeing beyond



ARTEVO 750 販売開始を記念して
実績あるIOLマスターとのセット販売を開始!

新技術を搭載した ARTEVO 750 と IOL マスター 700 を組み合わせることで、
先生方に最適な白内障手術ソリューションを提供します。
医療現場での効率を向上させるこの機会をお見逃しなく、ぜひご検討ください。

カールツァイスメディテック株式会社
Tel:0570-021311
zeiss.co.jp/meditec



キャンペーンサイトはこちら



超広角走査型レーザー検眼鏡

California RGB

販売名 パノラミック オプサルモスコープ カリフォルニア 登録番号 227A05Z00001000 一般的名称 眼底検査装置

ブルーレーザーの追加で、より自然な色味の眼底画像に



新製品

400kHz Full-Range SS-OCT
BMizar

100kHz Full-Range SS-OCT
Yalkaid

販売名 眼底検査装置 OCT BMizar 登録番号 307A05Z000000000 一般的名称 眼底検査装置 特定保守管理医療機器
販売名 眼底検査装置 OCT Yalkaid 登録番号 307A05Z000000000 一般的名称 眼底検査装置 特定保守管理医療機器

400,000A-scans/frame²の高速スキャンと最大120μmVoxelの高分解能を持つマルチレンジ型のSS-OCTA
眼底血管ネットワークを最大16μm²で高精度で観察し、高コントラストで撮影可能

*1 BMizarが対象となります。 *2 Yalkaidが対象となります。



株式会社 ニコン ソリューションズ
<https://www.nsl.nikon.com>



製品に関する詳しい情報はHPよりご覧ください



Serving Your Vision
眼科医療のヴィジョンに貢献

スリットランプ
700GL



この見えで世界に挑む

プレミアムな見え

ケーブル内蔵で快適な操作

豊富な実績

スリットランプ
4ZL



製品の詳細とカタログダウンロードはこちら



株式会社タカギセイコー
www.takagi-j.com/jp/

[本社] TEL.0269 22 4512 FAX.0269 26 6321
[東日本支店] TEL.03 5615 9282 FAX.03 5615 9283
[西日本支店] TEL.06 6334 4512 FAX.06 6334 4521

〒383-8585 長野県中野市岩船 330-2

ADISLJ-08

IPL [Intense Pulsed Light]

AQUA CEL

Jeisys

- ✓ ムラのない安定したパルス出力を実現
- ✓ 安心温度センサー+強力冷却機能搭載
- ✓ トーニングモード・フォトシャワー搭載



治療目的に応じた多彩なフィルター搭載

※一部オプションフィルター



操作性と耐久性に富んだハンドピース

標準小売 5,400,000円(税抜)
医療機器認証番号: 303AD8ZX00049000

製造元 **Jeisys** 製造販売元

販売元

お問い合わせ・デモのご依頼 www.inami.co.jp
株式会社 **イナミ** ☎ 03-3814-1731



HAAG-STREIT DIAGNOSTICS

スリットランプ Elara 900

ハーグストリート社の技術の粋を集結した
次世代型デジタルスリットランプ

Elara —
ゼウスに愛され、
その子を宿した神話の名「エララ」。

見えないものを映し出す神話の力。
ギリシャ神話に登場するElaraは、
未来の可能性を内包する。

その名を冠したこのスリットランプは、
あなたにかつてない視野をもたらします。



医療機器届出番号 1381X00049H50200

製造販売元



ジャパン フォーカス株式会社

本社/〒230-0292 東京都大田区東大田 6-1-18 (東大田駅C1) ☎03-3812-2611
大阪/〒145-0051 大阪府東淀川区 4-2-1 (東淀川駅) ☎06-5282-2099
URL: <http://www.jpfocus.co.jp>

総発売元

株式会社 JFCセールスプラン

本社/〒120-0027 東京都足立区 4-5-4 ☎03-3484-8333 (FD)
大阪/☎06-5271-1350 名古屋/☎052-9322-2255 福岡/☎092-6141-7300
URL: <http://www.jfc.jp>

25W4C

眼科の発展を考える“CAOS21の会”

第33回 CAOS21の会

CAOS21の会

会長 樋口 亮太郎 先生（金沢文庫アイクリニック）
 世話人 加藤 祐司 先生（札幌かとう眼科）
 世話人 森谷 充雄 先生（もりや眼科）
 世話人 小林 聡 先生（稲村眼科クリニック）

5 協賛会社

日本アルコン株式会社	株式会社ニコンソリューションズ
株式会社ニデック	株式会社イナミ
株式会社トプコンメディカルジャパン	カールツァイスメディテック株式会社
株式会社JFCセールスプラン	株式会社タカギセイコー
株式会社トーマコーポレーション	株式会社FOURCUS

《 器材提供 》

株式会社ホギメディカル

協賛各社様へ 平素はCAOS21の会へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで、第33回CAOS21の会も無事に終了することができました。今後も微力ながら眼科の発展につながるプランを考案していきますので、引き続き皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

CAOS21の会については、こちらの
 ホームページに掲載しております。
<https://www.caos21.net>

CAOS21の会事務局 株式会社FOURCUS

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-46-1

電話：03-5978-4351 FAX：03-5978-4355

Mail: sales-tokyo@fourcus.co.jp